



北進

めざす子ども像 「たしかに学ぶ子」「かかわりをもてる子」「たくましく生きる子」

重点「かかわりを通して学び、主体的に未来を生き抜く子どもの育成～「かかわる」「つなげる」「ひろげる」で子どもたちの未来を見守る～」



新たなステージでの活躍を夢見て

校長 野澤孝志

例年よりも積雪が多かった千歳市内の雪も、2月上旬の暖気の影響で雪解けが進みました。まだまだ寒い日はあるものの、少しずつ日が長くなってきて春の訪れを感じます。そして、間もなく3月を迎えようとしています。

中学3年生は無事に高校受検を終え、卒業後の進路に現実味を帯びてきました。教室や校長室で連日、面接練習や



試験対策をしてきた成果が発揮できたようで安心しています。また、小学6年生は中学生の先輩方と一緒に作業体験学習や、体力づくり、中学校の授業体験を行っています。ご家庭でも制服など、中学校入学に向けた準備が始まっているようです。教室廊下にある卒業式までのカウントダウンカレンダーで確認すると、卒業生の登校日数は10日を切りました。仲間や先生方と共に過ごした楽しい時間は、いつもあっという間に過ぎてしまうものです。「もうすぐお別れなの?」と、友達や先生方との別れを惜しむ寂しそうな表情をしています。

3月9日(土)の第53回卒業式では、小学6年生8名、中学3年生9名に卒業証書を授与します。小中の卒業生17名は、この1年間、いつも学校のリーダーとして活躍し、全校生徒に活力を与えてくれました。何事にも真剣で、いつも明るく、誰に対しても優しく北進小中学校のリーダーとして頼りになる存在です。巣立っていった多くの先輩方と同様に、伝統の北進小中学校の卒業生という誇りを胸に、堂々と旅立ち活躍することを願っています。

本校は小中一貫教育のよさを活かし、小学生から中学生へ、そして中学生は高校など社会へと「つなぐ」こと、「ひろげる」ことを意識しながら教育活動を行っています。中学1、2年生は、職場学習や高校受検に向けて準備する3年生の姿に、自分の数年後の姿を重ねます。小学5年生は、6年生の修学旅行報告会を見て、来年はどんな修学旅行になるだろうかと自分たちの姿を想像して、今からとても楽しみにしています。

北進小中学校9年間の小中一貫した教育により、先輩の姿を、これから進む新たなステージの見本として、自らの姿を想像し、その活躍を夢見ながら頑張ることができることはとても幸せなことです。低学年児童は、いつも優しく接してくれる上級生や中学生の姿を、目標とする未来の自分の姿と重ね合わせます。中学生が小学校の児童を優しく包み込む表情や、雰囲気は、北進の先輩方が自分たちにも優しく接してくれたからこそ生まれるものだと感じます。北進のよさを、これからもつないでいけるよう教職員一同、頑張っています。

※学校ホームページに、学校運営協議会における「関係者評価の結果」と「関係者評価におけるご意見」をまとめ結果について掲載しました。なお、関係者評価をもとにR6重点目標等を記載した「グランドデザイン」を作成し、後日ホームページに掲載する予定です。